

相生の森通信5

市民の声が反映される街づくりを目指して

市道弥富相生山線を考える市民の会

Email: info@aioiyama.info

HP: <http://www.aioiyama.info/>

Jan.7, 2014

「自然を守って!」「街が心配」の発言が続々と

12月23日「市道弥富相生山線を考える市民の集い」に参加者の思いは熱く

この日、地元4学区から、天白区から、名古屋市他の区から、大勢の市民が集まりました。市議員も土木交通委員の浅井議員(減税ナゴヤ)と天白区選出の田口議員(共産党)の二人が参加。名古屋市道路建設課の職員4人も出席。合計すると90人弱の参加になりました。詩の朗読、市道弥富相生山線建設から中断への経過説明、自然・道路などの現状の解説が1時間。後は参加者が思いをそれぞれに語る熱い会になりました。



語られた意見は大きく分けて自然の問題と住環境の問題、そして住民の意見が反映されていない行政への不満の3つになります。「道路が80%出来たことで森の乾燥化が起きている。森の植物は湿気が大切」「残る20%が一番貴重な生態系の所。ここが失われると相生山の生態系が酷いことになる」と自然観察をしている方達の発言。すでに道路が出来た地区からは「鳥も獣も虫も減り、自然が壊れた」との経験から反対の声。

行政への根本的疑問、区政協力委員長の意見を住民の声だとすることへの不満、「投票」を地元4学区に限るのはおかしい、子どもにも「投票」の権利があるなど、発言のたびに拍手が起きました。

「壊された自然は戻らない」「自然の価値を認めてほしい」「子どもたちに何を残してやるのかと言えば自然しかない」など、発言者は中学生から高齢者まで、内容も様々でした。自分も発言したかった、もっと討論したかったなどの思いを残してひとまず閉会。しかし、「投票」の問題について、「市民の会」の公開質問状に対して、市側から明確な回答は無く、当事者の市民には「投



下畑山の住民から風害で巨木が倒れたという報告もありました。

通学路につながる道路への心配、開通後の影響評価をしていない、騒音はどうか?などの不安、生活道路への車の入り込みのために税金を使って道を作り、自然を壊すのか、道路建設の理由の渋滞が解決したのに、何故、作るのかと次々と発言が続きました。



票」の内容は分からないまま。何が何だか分からない状態です。



道路が相生山緑地を分断するって、どんなこと?どうなるの?



現地を歩く会 1月26日(日)



相生口 9:30 集合/下山畑(ワーキング小屋前)10:00 集合・合流して出発

参加費 100 円。歩いた後の話し合いの場を予定しています!